

九大学研都市メールマガジン（令和7年3月臨時号）

opack_mailmagazine

九大学研都市メールマガジン（令和7年3月臨時号）

opack_mailmagazine

本メルマガ配信を行っております<emagazine@opack.jp>は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ<<https://www.opack.jp/>>内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

○**INDEX**○

- 九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ -

【1】2025年3月18日（火）開催
農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄
第4回公開シンポジウムの開催について

【2】2025年3月11日（火）開催
九州大学シンポジウム
病院キャンパス（馬出）～救急車利用の課題解決から「未来社会学」へ

【3】2025年3月28日（金）開催
令和6年度IDE大学セミナーの開催について

1 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 第4回公開シンポジウムの開催について

概要

本プラットフォームでは、農林水産物・食品の輸出と産学連携をテーマとした公開シンポジウムを開催いたします。

政府の輸出目標である2025年2兆円、2030年5兆円達成に向け、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」が進められる中、輸出産業は大きな変革期を迎えています。農林水産省の輸出推進プロジェクト「GFP*1」の事務局を務めるアクセンチュアは、輸出促進における技術的課題やビジネス環境の変化を分析し、産学官の連携による解決策を提案しています。

本シンポジウムでは、輸出競争力を高めるために求められる技術革新やデジタル戦略の活用、さらには大学の研究シーズとビジネスの融合の可能性について具体的な事例とともに考察します。遠赤外線や紫外線照射による品質保持、スマート農業技術、輸出DXの実装など、多様な技術アプローチを紹介しながら、研究と実践を結びつける新たな枠組みを考えます。日本の農産物輸出の未来を共に考え、新たな連携の可能性を探る場となる本シンポジウムに、是非ご参加ください！

*1 GFP・・・Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project、
農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト

日時 3月18日（火）16:30～18:00 16:00受付開始

場所 西鉄グランドホテル プレジールB
(福岡市中央区大名2丁目6-60)

ウェビナー配信あり

プログラム

【プラットフォームのこれまでの歩み】

コーディネートユニット

房賢貞

(九州大学大学院 農学研究院 助教)

【講演】「農林水産物・食品輸出における研究ネットワークの未来」

小栗史也氏

(アクセンチュア株式会社 プリンシパル ディレクター)

【ラウンドテーブル】

<ファシリテーター>

コーディネートユニット

中武貞文

(鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター 准教授)

参加費：無料

定員：会場40名 事前のお申込が必要です

主催：農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

共催：国立大学法人九州大学大学院農学研究院

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

後援：公益財団法人九州経済調査協会

申込方法：九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）ホームページからお申し込みください

<https://www.opack.jp/events/detail/626>

お問い合わせ先：農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 運営事務局

(公財)九州大学学術研究都市推進機構

担当：藤井 TEL 092 - 805 - 3677

E-mail info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp

2 九州大学シンポジウム

3月11日(火) 病院キャンパス(馬出) ~ 救急車利用の課題解決から「未来社会学」へ

概要

九州大学未来社会デザイン統括本部（FS本部）では、シンクタンクユニット 1と医療・健康ユニット 2が連携し、2024年4月から「救急車利用の課題・問題を考える」をテーマに勉強会を重ねてきました。「救急車の適正利用」を入口として始まった当プロジェクトは、医療の専門家に加え経済学、情報学など様々な分野の専門家と共に課題解決の道を考えています。今回のシンポジウムでは、救急医療の最前線で活躍されているDMATの近藤久禎先生、九州大学病院の赤星朋比古先生による基調講演で医療現場の具体的なお話を伺います。さらには救急医療に限らず、「厄介な社会問題をどう理解するか?」「私たちは未来社会に何を期待しているのか」「『未来社会学』とは何なのか?」も考えていきます。学生の皆さんや一般の方の参加も歓迎いたします。ぜひご参加ください。

1. シンクタンクユニット：<https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/unit/think-tank/>

2. 医療・健康ユニット：<https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/unit/medicine-and-health/>

日時 2025年3月11日(火) 14:30 ~ 17:30 (開場14:00)

場所 九州大学 病院キャンパス アイン薬局九大南店 2階 大会議室

アクセスマップ<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/hospital/>

内容

14:30～14:35 尾本章（FS本部 シンクタンクユニットリーダー）挨拶
14:35～14:50 尾方義人（FS本部 シンクタンクユニットサブリーダー）報告
14:50～15:20 近藤久禎氏 講演「近年の災害医療対応」
15:20～15:50 赤星朋比古 講演「救急搬送の現状と課題、その解決策は？」
休憩
16:05～17:05 パネルディスカッション
進行：岡田栄造（FS本部 シンクタンクユニットデザインディレクター）
パネリスト：
近藤久禎（国立病院機構本部DMAT事務局次長）
赤星朋比古（九州大学病院救命救急センター長）
中島梨沙（福岡地域戦略推進協議会シニアマネージャー）
工藤孔梨子（FS本部 医療・健康ユニットメンバー）
岸村顕広（FS本部 医療・健康ユニットメンバー）

17:05～17:20 鮎澤純子（FS本部 医療・健康ユニットサブリーダー）まとめ
17:20～17:30 赤司浩一（FS本部 医療・健康ユニットリーダー）挨拶

対象者 九州大学の教職員、学生、一般の方

定員 80名（オンライン配信は行いません）

参加費 不要

申込期限 3月11日（火）14:30

申込方法 事前申込制です。下記URLまたはチラシ記載の二次元コードよりアクセスし、申込事項の入力をお願いします。

URL：<https://forms.office.com/r/2Vhm7zhKp5>

問い合わせ 九州大学 企画部 社会共創課
E-mail: shiomizu.yuki.942@m.kyushu-u.ac.jp

・九州大学シンポジウム「救急車利用の課題解決から「未来社会学」へ」チラシ：
https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33382_file.pdf

3 令和6年度 IDE大学セミナーの開催について

概要

平成23（2011）年の東日本大震災後に、文部科学省から被災者支援ボランティアに参加した場合、その活動を大学の単位として認めるよう要請があって以降、大学でのボランティア活動に対する単位認定制度の構築が進められ、学生のボランティア活動に対する大学の支援についての動きが広がってきています。

もちろん先の要請以前から、学生の活動を支援するためにボランティアセンター等を立ち上げ活動している大学もあります。そこでは被災地支援だけではなく、広く多様なボランティア活動への支援が行われています。ただそのなかでも近年九州では大規模な自然災害が多く発生しており、平成28（2016）年熊本地震、平成29（2017）年九州北部豪雨では多くの学生が被災地支援のボランティア活動を行ってきています。

そこで今回は被災地支援に焦点をあて、大学教育の観点から被災地支援に大学が関わる意味を改めて考え直す場とします。学生を被災地支援に関わらせる中で、どのような観点が求められるのか。またそういった活動を通して学生が何に気を付け学び成長してもらいたいのか。大学として被災地支援への考え方やあり方を検討していくことで、皆様と深い議論ができますことを期待しております。

日時 令和7年3月28日（金）13:00～16:00

場所
ハイブリット開催
（会場）〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス多目的室
(伊都キャンパスマップ75番) https://www.kyushu-u.ac.jp/f/52465/ITO_1_Jp.pdf

(オンライン) Webex

内容

テーマ「被災地支援と大学教育」

開会挨拶 IDE九州支部長 石橋 達朗(九州大学総長)

基調講演「災害復興支援活動を通じた学生の学びと成長：受援力向上の観点を踏まえた被災者教育の実践をもとに」

講師：立命館大学サービスラーニングセンター長

山口 洋典 教授

事例報告1「西南学院大学における課外活動としての災害ボランティア」

講師：西南学院大学 総務部キリスト教活動支援課 ボランティアセンター事務室

南里 恵美 課長

事例報告2「授業を通じた被災地支援の方法と課題」

講師：久留米大学法学部国際政治学科

松田 光司 教授

総括・討議

パネリスト：上記講演者の通り

進行：IDE九州支部監事 小湊 卓夫(九州大学 准教授)

開会挨拶 IDE九州支部常務理事 園田 佳巨(九州大学理事・副学長)

対象者 大学教育に関心を有する方

定員 【来場者】20名【オンライン】200名

参加費 無料

申込期限 令和7年3月24日(月)まで

申込方法 以下のURLにアクセスし、お申し込みください。

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/382>

問い合わせ 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学学務部学務企画課内

IDE大学協会九州支部事務局(担当：米光)

電話：092-802-6072

・IDE大学セミナー チラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33383_file.pdf

事務局からのお願い&お知らせ

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

詳細

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。
info@opack.jp